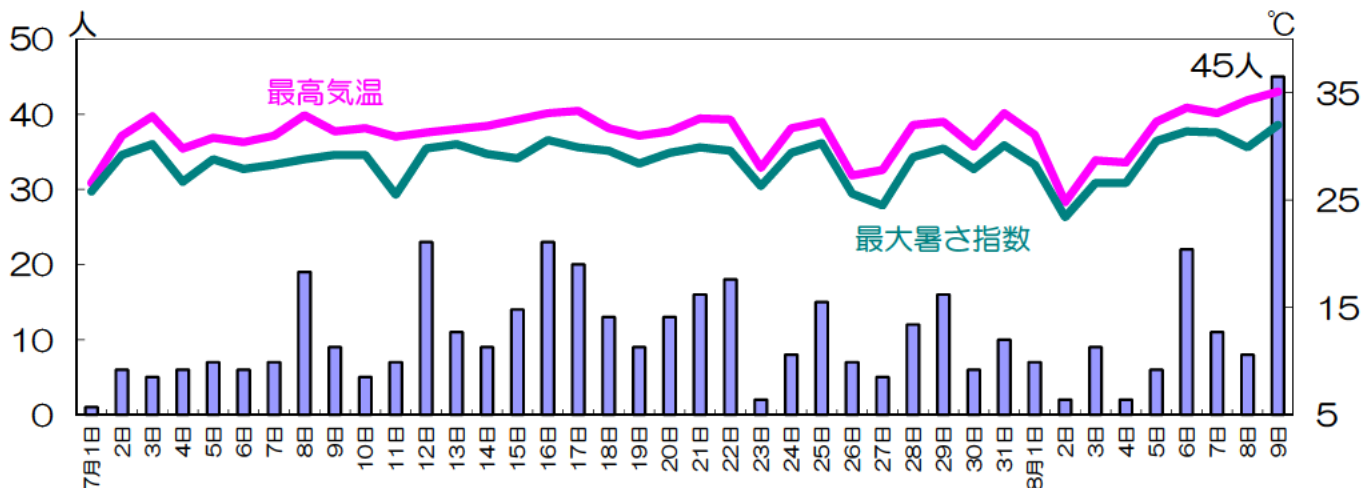


熱中症情報

<搬送数>

平成29年5月1日～8月9日までの搬送数（消防局データを使用）は、計530人（5月48人、6月42人、7月328人、8月112人）でした。最高気温が30℃以上になると搬送数が増加し、8月9日は猛暑日で、45人と多かったです。真夏日や猛暑日が予想される日には、特にご注意ください。

こまめに水分を補給し、適度に塩分を取り、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける事が大切です。また、室温は28℃を超えないようにエアコンで調節して、暑さから身を守りましょう。



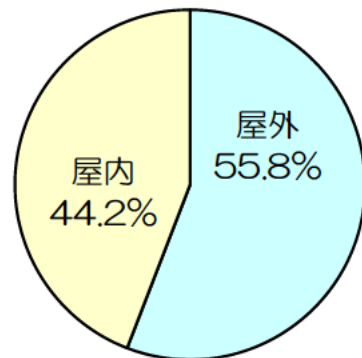
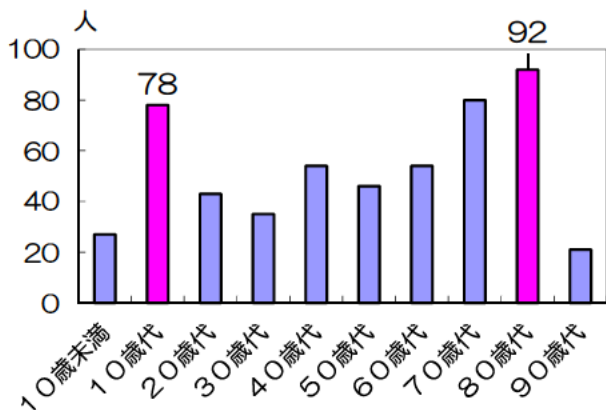
暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「環境省熱中症予防情報サイト（暑さ指数（WBGT）とは?）」をご覧ください。

<年齢別>

年齢別では、80歳代が17.4%と、一番多く、次に10歳代が14.7%でした。

<発生場所>

屋外55.8%、屋内44.2%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症60.6%、中等症34.0%、重症4.3%、重篤1.1%でした。

重症以上は、90歳代7人、80歳代7人、70歳代2人、60歳代4人、59歳以下9人でした。高齢者（65歳以上）になると、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

